## Delphi ziVNAu 専用パッケージ の インストール手順

## 富井 里一

## **Tommy Reach**

■はじめに

RF ワールド・ダウンロード・サービスにある ziVNAu の Delphi ソース・コードをコンパイルする と、"ZiEditExtendedA が見つかりません"のエラーが発生し、コンパイルは失敗することが分か りました。

解決するには、ziVNAu 専用のパッケージ(Delphi 用語)のインストールが必要です。以下に ziVNAu 専用パッケージのダウンロードと、そのインストールする手順を紹介します。

気づくまでに時間が経過してしまい申訳ありません。

●対象のソース・バージョン

Ver. 1.0: 2016 年 7 月 29 日, 新規リリース・バージョン

Ver. 1.1: 2016 年 10 月 20 日, バージョン・アップ版

●Delphi エディション

Delphi XE2 Professional

Delphi 10.1 Berlin Professional

■パッケージのダウンロードとインストール

 以下の URL から ziVNA 専用のパッケージをダウンロードします。 URL: lab.rf-world.jp ダウロード・タイトル: ziVNAu 専用の Delphi パッケージ ダウンロード・パスワード: VNA

		Last Update : Nov 20, 2016
ドのホームページへ		
	Concernent in the	
NAu専用のDalphi いつ ざんみデスト [24.4kB] [i		2016年11月20日17時60分 2日14時44分
	1. 1. est	and and and a second

※このダウンロード・サイトは、CQ 出版社のご厚意により、マイナー・リリースの ダウンロード向けに用意していただいたものです。

- (2) ダウンロードした "ZiPackA1.zip"を適当なフォルダに解凍します。
   解凍したフォルダは、Delphi で ziVNAu のソースを編集する時には継続的に参照します。そのために、フォルダ・パスに全角文字は含まれないようにします。
- (3) "ZiPackA1" フォルダの中にある "ZiPackA.dproj" ファイルをダブル・クリックします。すると、 Delphi が起動してパッケージのプロジェクトが開きます。
- (4) Delphi ウィンドウの右側にある "ZiPackA.bpl" をマウス右ボタンで選択し、ポップアップメニ ューの中から、"ビルド" を実行します。



すると、"ZiPackA1" フォルダに、.dcu ファイルが生成されます。

(5) 同じく、"ZiPackA.bpl"をマウス右ボタンで選択し、ポップアップメニューの中から、"インスト ール"を実行します。すると、インストールされた旨のダイアログ・ボックスが表示されます。



(6) Delphi を閉じます。プロジェクト "ZiPackA" を保存する旨のダイアログが表示されますので、 [はい] ボタンをクリックします。 ここからは、RFワールドのダウンロード・サービスからダウンロードした ziVNAuのDelphi ソ ース・コードを Delphi に読み込ませます。注意点として、フォルダのパスに全角文字が含まれ ないようにします。

- (7) "ziVNAu.dproj" ファイルをダブル・クリックします。Delphi の起動と ziVNAu ソース・コードの オープンが実行されます。
- (8) ライブラリのパスに、さきほどビルドしたパッケージのフォルダを登録します。
   ① Delphi ウィンドウのメニュー [ツール] > [オプション] を実行します。



② 現れたウィンドウの左側にある "ライブラリ"を選択し、ライブラリ パス の […]ボタン をクリックします。

オブション		×
<ul> <li>         ● 環境オブション ^</li></ul>	ディレクトリ 選択したプラットフォーム: ## 32 ビット Windows ライブラリ パス( <u>B</u> ): \$(BDSLIB)#\$(Platform)¥release;\$(BDSUSERDIR)¥Imports;\$(BDS)¥Imports;\$(BDSCOMMONDIR)¥Dcp;\$(BDS)¥includi ~	
<ul> <li>環境変数</li> <li>差分ビューア</li> <li>マージ・ビューア</li> </ul>	パッケージの出力ディレクトリ(K): s(BDSCOMMONDIR)¥Bpl ~	
[開き直す] メニュー ファイルの関連付け	DCP 出力ディレクトリ( <u>R</u> ): \$(BDSCOMMONDIR)¥Dcp ~ )	
- プロジェクトのアップクレート - 自動回復機能 - 接続プロファイル マネージャ	プラウザ検索リ(ス( <u>W</u> ): \$(BDS)¥OCXWServers;\$(BDS)¥SOURCE¥VCL;\$(BDS)¥SOURCE¥VCL¥AppAnalytics;\$(BDS)¥source¥rtI¥common;\$(BDS ~	
- プロビジョニング - エクスプローラ	ユニット スコープ名( <u>U</u> ):	1.0.0
- 特徴決地 * Delphi オブション - ライブラリ	デバッグ用 DCU /(ス(Q): s(RDSLIB)¥5(Platform)¥debug	
- ライブラリ · 翻訳済み タイプ ライブラロ	HPP 出力ディレクトリ(日):	in such all

 ③ 現れたウィンドウで、一番下の行を選択してフォルダのアイコンをクリックします。
 そして、パッケージを配置したフォルダ "ZiPackA1"を選択し、[フォルダの選択] ボタン をクリックします。

●デルクトリーー番下の行を選択してフォルダー		mp → ZiPackA1	× 0	②PackA1的抽意		×
Libraryパスの一覧:	登壇・ 新しいフォルダ	-			目•	0
s(BDSLIB)¥\$(Platform s(BDSUSERDIR)¥Imports s(BDS)¥Imports s(BDS)¥Imports s(BDS)¥Imports	* 94ック アクセス ConeDrive PC オットワーク	6.E	▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	要新日時	推动	
灰色はパスが存在しないことを表しています。 \$(BDS)¥include 重換(B) 通知(A) 削除( <u>D</u> ) 不正なパスを削除( <u>P</u> )						
OK キャンセル ヘルプ	7#1	/#-: ZiPackA1	(	フォルダーの違识	キャンセル	

④ [追加] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

Library/17.0	)一覧:			
\$(BDSLIB) \$(BDSUSE \$(BDS)¥In \$(BDSCOM	*\$(Piatform)*i RDIR)*Import nports	release s		
\$(BDS)Hin	dude			
				14
灰色はパスが	存在しないことを表	しています。		
C:¥tmp¥Z	PackA1			
置换(R)	道加(A)	削除(D)	不正な/(スを	(列除(P)
置换(R)	追加(A)	耐除(D)	不正なパスを	(利除(P)

⑤ 最後に [OK] ボタンをクリックします。

> 環境オプション ↑ オプジェクト インスペクタ 、 ツール パレット 一 色 - コンポーネント ツールパー - 環境変数 - 売分ピューア	ディレクトリ 選択したプラットフォーム: 10 32 ビット Windows ~ ライブラリ パス(日):		
	\$(BDSLIB)#\$(Platform)#release;\$(BDSUSERDIR)#Imports;\$(BD ~)		
	パッケージの出力ディレクトリ(広):		
- 7-5 K1-7	\$(BDSCOMMONDIR)¥Bpl ~		
<ul> <li>【関き直す】メニュー ファイルの間違付け プロシェクトのアップグレード 目動回復機能 有害変通</li> <li>Delphi オプション 57プラリ - ライブラリ - 翻訳済み - タイブ ライブラリ - カスタマーエクスペリエンス プログ マ フォーム デザイナ - デバイス マネージャ マ</li> </ul>	DCP 出力ディレクトン(B):		
	\$(BDSCOMMONDIR)#Dcp ~		
	ブラウザ検索パス(W):		
	\$(BDS)#OCX#Servers;\$(BDS)#SOURCE#VCL;\$(BDS)#SOURCE#\ ~		
	ユニット スコープ名(以):		
	v		
	デバッグ用 DCU パス(D):		
	\$(BDSLIB)¥\$(Platform)¥debug ~		
	HPP 出力ディレクトリ(日):		
	\$(BDSCOMMONDIR)WhopV\$(Platform)		

以上の操作で、ziVNAu 専用のパッケージのインストール作業は終了です。

(9) 念のために ziVNAu のコンパイル・実行をしてみます

Delphi メニュー [実行] > [実行] を実行します。



エラーが発生することなく ziVNAu が起動します。

コンパイル・実行することで ziVNAu.exe が生成されます。場所は、開いた "ziVNAu.dproj" の、フォルダ¥Win32¥Debug にあります。

とみい・りいち 祖師谷ハムエンジニアリング